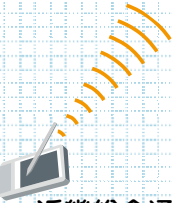




総務省

暮らしの中の電波 安全な利用に向けて

無線LANの安全利用・電波の人体への影響に関する説明会を神戸市で開催



近畿総合通信局は、平成29年12月6日、神戸市の兵庫県民会館で「無線LANの安全利用及び電波の人体等への影響に関する説明会」を開催し、地方自治体や電気通信事業の関係者など93名が参加しました。



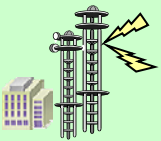
講演する安永部長

本講演では、はじめに、近畿総合通信局の安永望電波監理部長が「電波の安全性に関する総務省の取組」と題して、総務省が策定した電波防護指針（人体に影響を及ぼさない電波の強さの指針）を紹介した上で、携帯電話の電波を例にとり、電波の強さや国際的な指針の状況を説明しました。

続いての講演では、（一財）電気安全環境研究所電磁界情報センターの大久保千代次所長から「電波の安全性評価とWHOの動向」と題して、WHO（世界保健機関）が今日まで、携帯電話使用を原因とするいかなる健康への影響もないとしているほか、電磁波リスクに関する信頼できる情報源（国や国際機関）について説明がありました。

最後の講演では、（一社）ICT-ISACの齋藤和典事務局次長から「無線LANの安全な利用に向けて」と題して、無線LANの認証方式、暗号方式、違法・有害情報に対するフィルタリングなどを通じて、利便性を確保しつつセキュリティとのバランスが必要との説明がありました。

近畿総合通信局では、今後もセミナーの開催など各種の取り組みにより、電波の安全利用や人体への影響に関する啓発活動をすすめて参ります。



ワイドFM 京都ではじまる

～株式会社京都放送のFM補完中継局に予備免許～



近畿総合通信局は、平成29年12月6日付けで予備免許となった株式会社京都放送のFM補完中継局について、同月12日に予備免許通知書を交付しました。

この補完中継局により、京都市内及び周辺部の都市化や地形が原因でAMラジオ放送が聞きづらい地域において、難聴の解消と音質の改善が期待されます。

本放送は、平成30年春頃に開始する予定です。



左：細井俊介 株式会社京都放送代表取締役社長 →
右：安藤英作 近畿総合通信局長





総務省

4K・8Kの実用放送開始に向けた良質な受信環境を

—「放送技術セミナー」を大阪市で開催—

近畿総合通信局は、平成29年12月6日、近畿受信環境クリーン協議会と共に大阪市内のホテルで「放送技術セミナー」を開催し、放送関係者など72名が参加しました。



挨拶する安藤局長

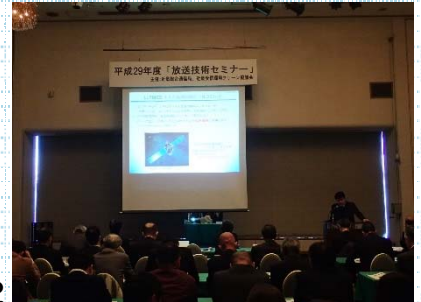
冒頭、主催者を代表して、近畿総合通信局の安藤英作局長から「平成30年12月には4K・8Kの実用放送が予定されている。また、インターネットと連携したスマートテレビなどの新しい放送サービスの開発も進んでおり、よりきめ細かい高度な放送サービスを提供することで国民ニーズに応えていくことが期待されている。放送に関連する施策等の認識を深め、幅広く電波障害の知識を吸収してほしい」と挨拶がありました。

本講演では、はじめに、(一社)放送サービス高度化推進協会4K8K推進センターの新井智広部長から「4K・8K実用放送開始に向けた技術課題への取り組み」と題して、4K・8K放送の特

長やサービスの概要、左旋の伝送で利用される2.5GHz帯での干渉、BS右旋の帯域再編など、今後取り組んでいく技術的な課題について説明がありました。

続いて、首都大学東京大学院理工学研究科の和田圭二准教授から「インバータから発生するノイズとその対策法」と題して、モータや電源装置などの分野で活用されているパワーエレクトロニクス機器から発生するノイズの発生原理について技術的・専門的な説明がありました。

近畿総合通信局では、4K・8K放送がスタートする平成30年12月に向け、引き続き各種の取り組みをすすめて参ります。



セミナーの様相

日韓電波監視専門家会合を近畿総合通信局で開催

日本と韓国の電波監視分野の連携強化と発展を目的に「第12回日韓電波監視専門家会合」が、平成29年12月13日から14日にかけて、近畿総合通信局で開催されました。



会合の様相



The 12th Japan-Korea
Radio Monitoring Working-Level Meeting

December 13-14, 2017



本会合は、日本の総務省と韓国の科学技術情報通信部が、平成17年以降、毎年1回、日韓交互に開催しているもので、今回で12回目の開催となります。近畿総合通信局で開催されるのは今回が初めてです。

日本から総務本省及び関東、近畿、九州の各地方総合通信局の監視部門の職員10名、韓国から科学技術情報通信部の中央電波監理所及び電子通信研究院の職員8名が出席し、友好的な雰囲気のもと、オリンピック・パラリンピック等大規模イベントにおける電波監視手法と技術に関する事例紹介や日韓両国での混信妨害発生時の対応などについて、有意義な意見交換が行われました。